

清和会・社会党合同会派視察報告書

日時 平成 27 年 11 月 16 日

参加者 加藤善市・佐藤勝・大友文司・豊島正人

視察市 宮崎県都城市

視察内容 都城市における 6 次産業の取り組みについて

都城市の農業の概要

豚 225 億円 肉用牛 151 億円 プロイラー148 億円 (全国第 1 位)

ごぼう、さといも、ラッキョウ 13 億 5 千万円

焼酎用甘藷 19 億円等農業産出額 698,3 億円全国第 2 位

1、 6 次産業化の必要性

- ・農畜産物の価格低迷や農業所得の減少
- ・高齢化や後継者不足で地域担い手や農家戸数の減少

2、 都城市における 6 次産業化の取り組み経過

平成 25 年 1 月関係課 7 課 (経営戦略課、森林保全課、農政課、農産園芸課、畜産課
商業観光課、工業振興課) 職員で組織する「6 次産業化推進プロジェクトチーム」を設
置下記の事項を検討

6 次産業化推進にむけた現状分析、課題の抽出にかんすること。

6 次産業化の取り組みに向けた関係機関との連携。

6 次産業化推進構想の策定に関すること。

6 次産業化推進のシンポジウムに関すること。

3、 6 次産業化推進事務局の新設

平成 25 年 4 月生産・加工・流通販売の各分野の連携を強化し、6 次産業化を進めるた
め、部に準ずる組織として「6 次産業化推進事務局」を設置。部長を局長に、農協との
連携、地域一丸となった推進体制を構築した。

4、 はばたけ都城六次産業化推進協議会の設立

会長 都城市長、副会長 JA 都城組合長など構成メンバー 12 名、幹事 17 名

5、 はばたけ都城六次化推進協議会取り組み概要

六次化推進に向けて基本的な考え方

- 1、 儲かる農業の実現
- 2、 中長期的な育成支援

六次化産業推進における重点事業領域

- 1、 企業的な六次産業化経営体育成の為の勉強会の開催
- 2、 マッチング機会の創出
- 3、 売れるモノづくり、魅力ある商品づくりを支援する事業

6、 考察

全国的に見ても六次産業の事例が多い都城市を視察いたし改めて行政と JA とがしっか

りスクラムを組んで六次化を推進しておりました。都城市の持っている畜産、焼酎を中心に野菜も組み合わせた魅力的な商品づくりが成功しており、そのことがふるさと納税制度の返礼品の魅力につながり全国でも1, 2を争う納税額の多さにつながっていると思われました。

売れる農業は本市の農業で最も不足している分野です。農家だけでは商品開発、パッケージ化、販売ルートの開拓など難しい分野を都城市は商工会議所も推進機構のメンバーにはいっておりました。推進旗鼓の幹事は行政、JA、商工会議所の実務者で構成されており六次産業を考えている人たちの相談にネットワークをもって対応しており、本市が六次化産業を推進するためにはもっときめ細かい支援策が必要とかんじました。

高千穂町における農業世界遺産登録への取り組みについて

視察地 宮崎県高千穂町

日時 平成27年11月17日

高千穂郷・椎葉山世界農業遺産推進協議会の取り組みについて

1、高千穂郷、椎葉山の現況

構成町・村 高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町、諸塚村、椎葉村

伝統的・持続的農業システム

椎葉村の伝統的な焼き畑農業

諸塚村における森林保全管理と複合経営

高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町における農畜産業

2、焼畑農業の循環的なサイクル

秋 伐採 翌年夏 火入れ 1年から4年目作物輪作（豆、キビ、甘藷など）

5年目以降回復期（20年～30年）回復期針葉樹（杉、ひのきなど）落葉広葉樹

（くむぎなど）照葉樹の混植

3、諸塚村の林業価値をたかめる取り組み

長期的な資産形成である針葉樹施業（森林認証を取得日本初）と、毎年の換金作物であるシイタケ栽培（加工・流通過程の管理に関する認証のCOC認証取得世界初）

4、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町の農畜産業の取り組み

日本一生産量の釜炒り茶、高品質の和牛生産、棚田のコメ作りとそれを支える山腹水路網（数10Kも離れた山奥の水源まで伸びており、農家の努力と工夫がうかがえる）

棚田農業と肉用牛生産による資源循環（棚田の法面の草刈り、それを牛が食べる、牛のたい肥と棚田に施用）

5、生物の多様性

本地域の人工林はすぎ、ヒノキ等の針葉樹が大部分を占め、その多くが適期の下刈りや除間伐採の実施により適切に管理されていることから生物多様性が田茂られている。また、杉の人工林や棚田とそれを支える山腹水路等の二次的自然が希少な動植物の生息地域となっている

6、農林業と深く結びついた独自の伝統文化

高千穂は古事記・日本書紀に記された「天孫降臨」の地とされ、日本神話と結びついた神楽や日本を代表する「刈干切歌」「ひえつき節」など多くの伝統文化が息づいている。

7、考察

高千穂・椎葉山の農業世界遺産登録への取り組みを見て、わが大崎市も世界遺産登録に意欲を見せているが、高千穂・椎葉山の取り組みが進んでおり大崎市は後れを取っているとかんじました。その最大の要因は物語がしっかりできていることです。昔からの農業の取り組みが今も継続されておりました。棚田、山腹水路、森林などの景観

絶滅危惧種の生息地、民話と伝統文化の継承が一体となっていることを感じました。
大崎市が農業世界遺産登録を考えると、しっかりとした物語を作る必要があると思
います。

清和会・社会民主党会派調査視察の報告

調査目的 地域医療を守る条約について

視察地 宮崎県 延岡市

日時 平成27年11月18日（水）9:30～11:00

内容 近年市民の生活様式や嗜好が大きく変化し市民の医療に対する要求が多様化しているが、こうした変化に対応するための基盤となる『地域医療』を守り、円滑に継続させていくことが不可欠となっている。

市民と医療関係の相互理解とより強い信頼関係の構築が今後求められる。

そのため行政・市民・医療関係 三者の相互協同により、『地域医療』を守るため延岡市は、平成21年9月29日に[延岡市の地域医療を守る条例]を制定した。(別紙)

現在 宮崎県北部の医療体制は医師不足のため、小児科・産婦人科・眼科・麻酔科・精神科はすべて休診している危機的状況になっている。

そのため市民には安易な医療機関の利用の抑制を呼びかけている。

この条例に基づいて行政は『地域医療』を守るため、各地区で市民を対象に健康学習会を医療機関の協力を得ながら開催し、啓蒙活動に取り組んでいる。

大友 文司